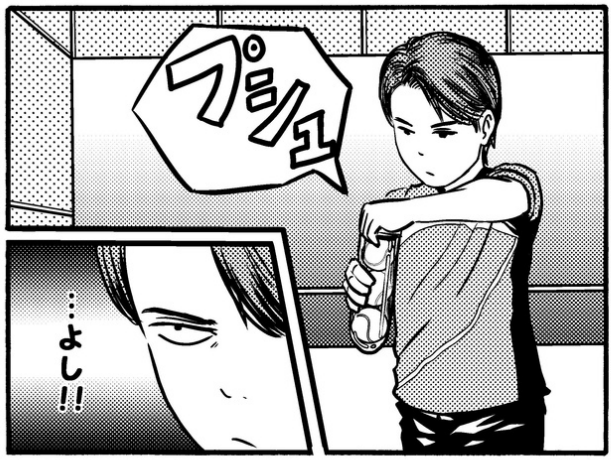
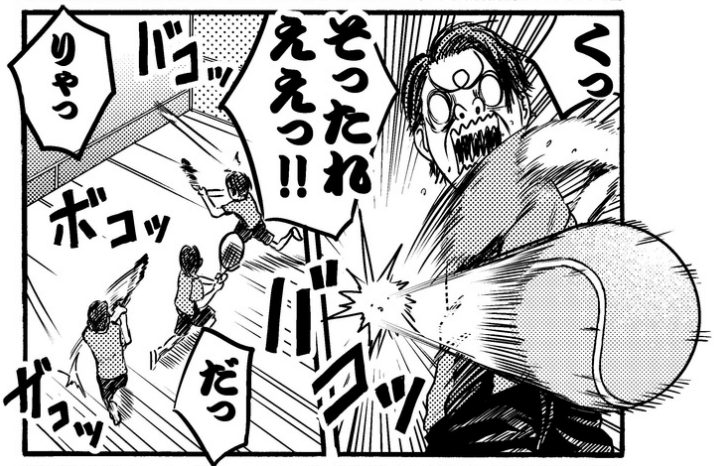
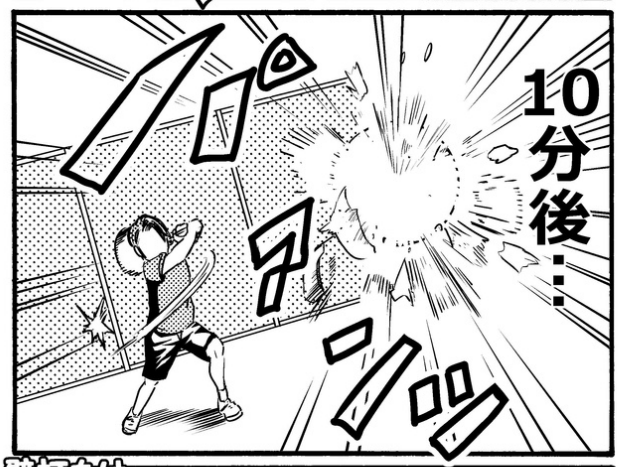
史上２人目の全日本ジュニア
シングルス４階級制覇!!
（U12、U14、U16、U18）
NO TENNIS NO LIFE
国内最高ランキングS18位
（ATPランキングS990位）
主な戦績/
全米オープンJrダブルス
ベスト8
全豪オープンJrシングルス
ベスト32
ダブルス　ベスト16
“絶対的攻撃”
ライジング亮太（田口 亮太）
テニスコーチの父の影響で3歳からテニスを始める（本格的に始めたのは6歳）
小学3年生から中学2年生まで父親と平日の毎朝1時間半の朝練特訓をした
練習はいたってシンプルで単純な球出し練習とボレー対ストロークだった
球出しでは、足腰を使ってとにかく重いボールを打つことを意識…
ボレストでは父親のラケットめがけて狙うことを意識した
小さい時から、同じことをコツコツやること、と何かに挑戦するのが好きだった
小学校5年生の時には縄跳び前飛びで連続1万回二重跳びでは連続9000回壁打ちで連続3000回…
単純作業を黙々とこなすことで自然と集中する（ゾーンに入る）特訓になっていた
ジュニア時代では日本一になること15回!!
国際大会でも…
のちの元世界1位のヒューイットや
元世界7位のスリチャパンにも
勝利を収めた!!
フェデラーには
4-6、4-6の接戦を演じたことも!!
ストローク戦では…
とにかく両手フォア（回り込みフォア多用）の
フルスイングで相手のバックに強打!!
相手に考える時間や
反応する時間も
与えない!!
とにかくフォアで押し切る
超攻撃スタイル!!
ライジング亮太の絶対的攻撃テニス
当時の田口亮太にとって、『守備は破壊するもの』
不器用で、多彩性がなかった…
そのためサーフェスや相手に関係なく、
攻めのテニスを貫く。
だからこそ、誰にも負けない1つの武器（攻撃）を
作り上げることに、誰よりも練習した!!
高校卒業後、プロ転向するも…
肩の故障（肩腱盤損傷）で21歳の若さで
引退を余儀なくされる…
はっ!!
ガン
引退後…
東北の仙台で自身のテニスアカデミー
「R-PROJECT　TENNIS　ACADEMY」を設立し…
コーチとして活動
自身の叶わなかった夢をジュニアに託す!!
リターンゲームでも、ベースラインの中に
入ってステップイン
ライジングリターンでも相手に
プレッシャーをかける!!

ライジング亮太の壁打ち練習

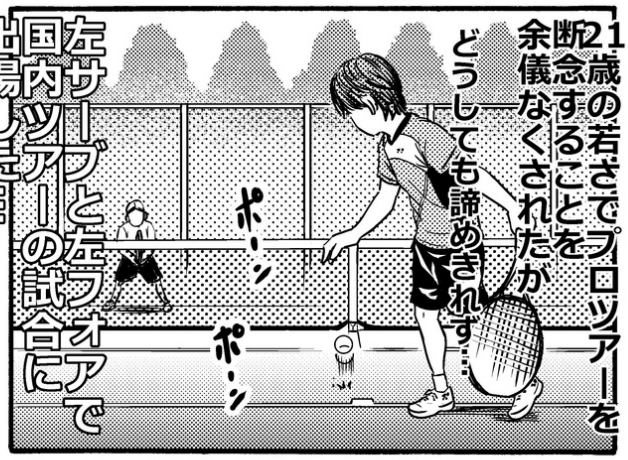
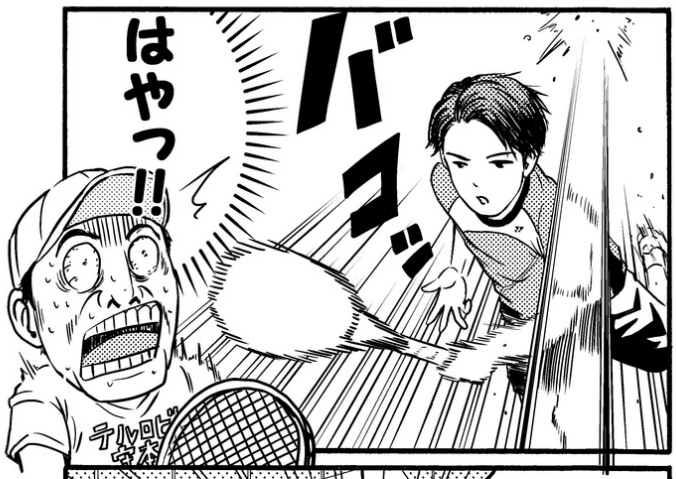
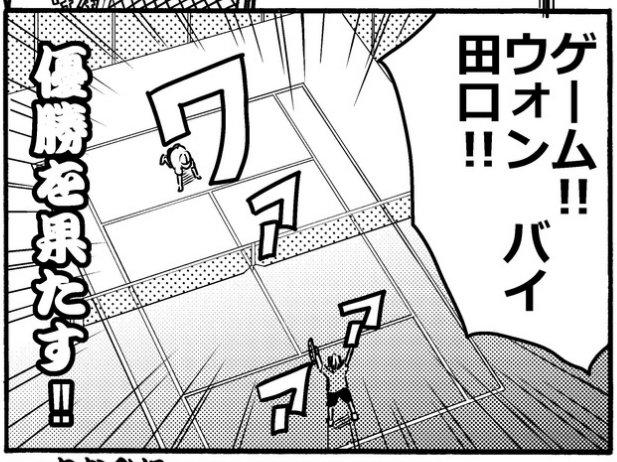






壁打ちは

ユーボールからボールが破裂するまで…

『ボールを潰し重いボールを打つようになりました!!』
by　ライジング亮太

引退後…